

令和 2 年 3 月 2 4 日
秋田市障がい者総合支援協議会

令和元年度秋田市障がい者総合支援協議会就労部会の総括について

部 会：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会
部会長：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会会長
委 員：秋田市障がい者総合支援協議会就労部会委員

1 令和元年度の協議の方向性と課題について

令和元年度の就労部会における目指すべき方向性は、次のとおりであった。

障がい者の就労環境の整備のため、障がい者の就労支援に携わる機関により以下に掲げる課題に取り組むもの

- (1) 障がい者の就労課題に特化した課題整理と検討
- (2) 就労先の開拓について
- (3) 実習先の開拓について
- (4) 特別支援学校卒業予定者等の就労系障害福祉サービス利用について

2 協議内容

1 に掲げる目指すべき方向性を踏まえ、次の課題について協議を行うこととした。

- (1) 障がい者等の就労にかかる課題に関する整理と検討
 - ア 就労系障害福祉サービス提供事業所における課題や情報の共有
 - イ 就労系障害福祉サービス提供事業所の支援員を対象としたスキルアップ研修の実施
 - ウ 就労系障害福祉サービス提供事業所の工賃向上に向けた企画の提案
 - エ 直B利用に係る秋田市モデルのアセスメント体制の構築
- (2) 当事者やその家族に向けた情報発信
 - ア 障害福祉サービス利用に関する説明会の開催
 - イ 事業所一覧の更新
- (3) 就労系障害福祉サービス提供事業所の作業受注に向けた民間企業等との連携
 - ア 共同受注事業を含めた作業発注・受注体制の検討
 - イ 障がい者雇用に関する情報発信と共有
- (4) その他、部会で検討が必要と判断した事項

3 協議の方法について

支援内容ごとにより具体的な協議を進めるため、協議の方法については、次に掲げる方法のとおり行うこととした。

【由利氏（天王みどり学園）、曾我氏（スクールファーム河辺）、入江氏（保戸野ハウス）、神原氏（ウェルビューいずみ障害者就業・支援センター）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

(1) 検討事項について

- ア 就労系障害福祉サービス提供事業所（以下、事業所）における課題に関する整理と検討
- イ 事業所の支援員を対象としたスキルアップ研修の実施
- ウ 事業所の工賃向上に向けた企画提案
- エ 直Bアセスメントについて
- オ 当事者やその家族に向けた情報発信
- カ 事業所の作業受注に向けた民間企業との連携
- キ 障がい者雇用に関する情報発信と共有
- ク その他部会で検討が必要と判断した事項

(2) 各委員・関係者より情報提供および情報・意見交換

□R1. 10. 25(金) 第3回 部会 市役所庁舎 洋室3 PM1:30～3:00

・出席者：牧野委員（部会長）、栗田委員、工藤委員、成田委員、阿部委員、石山委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、曾我氏（スクールファーム河辺）、神原氏（ウェルビューいずみ障害者就業・支援センター）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

(1) 検討事項について

- ア 就労系障害福祉サービス提供事業所（以下、事業所）における課題に関する整理と検討
- イ 事業所の支援員を対象としたスキルアップ研修の実施
- ウ 事業所の工賃向上に向けた企画提案
- エ 直Bアセスメントについて
- オ 当事者やその家族に向けた情報発信
- カ 事業所の作業受注に向けた民間企業との連携
- キ 障がい者雇用に関する情報発信と共有
- ク その他部会で検討が必要と判断した事項

(2) 各委員・関係者より情報提供および情報・意見交換

□R1. 11. 29(金) 第4回 部会 市役所庁舎 音楽室2 PM1:30～3:00

・出席者：牧野委員（部会長）、工藤委員、石山委員、栗田委員、阿部委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、入江氏（保戸野ハウス）、神原氏（ウェルビューいずみ障害者就業・支援センター）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

(1) 令和元年度各課題検討事案の検討

- ア 事業所の支援員を対象としたスキルアップ研修の実施
- イ 就労支援アセスメントについて
- ウ 当事者やその家族に向けた情報発信
- エ 障害者雇用に関する情報発信と共有
- オ その他、部会で検討が必要と判断した事項

(2) 各委員より話題提供及び情報・意見交換

□R2.1.24(金) 第5回 部会 市役所庁舎 洋室3 PM1:30~3:00

・出席者：牧野委員（部会長）、成田委員、石山委員、栗田委員、阿部委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、入江氏（保戸野ハウス）、神原氏（ウエルビューいずみ障害者就業・支援センター）、山口氏（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

(1) 令和元年度各課題検討事案の検討

- ア サービス管理責任者及び障がい者就労支援に関わる職員と相談支援専門員による研修会の振り返り
- イ 今後の就労部会の在り方について
- ウ 当事者やその家族に向けた情報発信
- エ 障害者雇用に関する情報発信と共有
- オ 障がいサービス提供事業所の市民ホール展示について

(2) 各委員より話題提供及び情報・意見交換

□R2.2.28(金) 第6回 部会 市役所庁舎 洋室4 PM1:30~3:00

・出席者：牧野委員（部会長）、成田委員、工藤委員、栗田委員、荒川委員、阿部委員、菊池委員（橘委員代理）設置運営要綱18条に基づく関係者【由利氏（天王みどり学園）、曾我氏（スクールファーム河辺）、小塚氏、入江氏（保戸野ハウス）、斎藤氏（相談支援部会長）、神原氏（ウエルビューいずみ障害者就業・支援センター）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

(1) 令和元年度就労部会の総括

- ア 就労系障害福祉サービス提供事業所（以下、事業所）における課題に関する整理と検討
- イ 事業所の支援員を対象としたスキルアップ研修の実施
- ウ 事業所の工賃向上に向けた企画提案
- エ 直Bアセスメントについて
- オ 当事者やその家族に向けた情報発信
- カ 事業所の作業受注に向けた民間企業との連携
- キ 障害者雇用に関する情報発信と共有
- ク その他部会で検討が必要と判断した事項
- ケ 令和2年度・就労部会の目指すべき方向性や企画案について

(2) 各委員より話題提供及び情報・意見交換

5 協議結果：協議の成果と今後の検討課題について

(1) 障がい者等の就労にかかる課題に関する整理と検討

① 協議の成果

ア 就労系障害福祉サービス提供事業所における課題や情報の共有

令和元年12月18日に相談支援部会と共同開催した「サービス管理責任者及び障がい者就労支援に関わる職員と相談支援専門員による研修会」の「就労支援分科会」の中で、企業からの参加者を交えて、事業所における課題や就労支援に関する情報の共有・検討を行った。

イ 就労系障害福祉サービス提供事業所の支援員を対象としたスキルアップ研修の実施

同研修会の就労支援分科会において、「ワールドカフェ」形式のグループワークを実施。就労系障害福祉サービス提供事業所の支援員以外に、企業（4社）の人事担当者等も参加。それぞれが抱える課題の検証と共有、企業と福祉、双方からの障害者雇用に関する意見交換、顔の見える関係形成ができた。

ウ 就労系障害福祉サービス提供事業所の工賃向上に向けた企画の提案

前年度から引き続き秋田市庁舎内等で就労系障害福祉サービス提供事業所の販売について検討し、関係部署と具体的検討を重ねたが、販売を目的として、定期的に市庁舎等を利用することは困難であることから、今後、別の視点での企画を検討することとした。

エ 直B利用に係る秋田市モデルのアセスメント体制の構築

直Bアセスメントを行う就労移行支援事業所数の減少（今年度は1施設）に伴い、相談支援部会や障害者就業・生活支援センターと連携し、秋田市モデルのアセスメント体制を構築した。

② 今後の検討課題

アについて

就労系障害福祉サービス提供事業所の支援員が抱えている課題や情報が事業所間で共有できていないことから、当部会から情報発信する形ではなく、当事者同士が直接、課題検証や情報共有を図ることができる小規模の集まりを企画していく。

イについて

アンケートの結果、企業参加型研修の要望が多かったことから、同業・異業を含めた就労支援に関する研修会を企画検討していく。

ウについて

提供型ではなく、別の視点（例：研修…学習型／実技型）での、工賃向上に向けた企画を検討していく。

エについて

令和2年1月に直Bアセスメントを行う就労移行支援事業所が1ヶ所増え、次年度もアセスメント対象者本人やその家族の意向を最優先し、負担や不安軽減を図ると共に相談支援事業所、支援学校担当者、障害者就業・生活支援センターの連携体制強化を図る。

(2) 当事者やその家族に向けた情報発信

① 協議の成果

ア 障害福祉サービス利用に関する説明会の開催

秋田市内特別支援学校中学部3年生、高等部1・2年生の保護者を対象として障害福祉サービス（就労系含む）利用に関する説明会を1回開催した。市障がい福祉課からの説明と資料提供。保護者が個別に相談できる場を設けた。

イ 事業所一覧の更新

就労系障害福祉サービス（就労移行支援・就労継続支援A型・B型）事業所

とグループホーム事業所の一覧表を市ホームページに掲載し、新規事業所の指定等にあわせて更新した。サービスを利用する本人やその家族だけでなく、ハローワークや障害者職業センター、相談支援事業所、他の障害者支援機関、医療機関、特別支援学校などの相談場面において活用されている。

② 今後の検討課題

アについて

次年度は県央地区特別支援学校進路指導連絡協議会で隔年主催している障害福祉サービス提供事業所合同説明会での開催を検討し、市障がい福祉課からの説明と資料提供のほか、部会委員や協力員による福祉サービスや就労に関する個別相談も企画していく。

イについて

次年度も早期の更新に努め、最新の情報掲載を行なっていく。ホームページを参考にする本人や家族も多くなっていることから、事業所パンフレット（PDF形式）の掲載を検討していく。

(3) 就労系障害福祉サービス提供事業所の作業受注に向けた民間企業等との連携

① 協議の成果

ア 共同受注事業を含めた作業発注・受注体制の検討

今年度から秋田県共同受注窓口ができたため当部会での協議は取りやめた。

イ 障がい者雇用に関する情報発信と共有

各委員・協力員が保有する企業からの障がい者雇用募集情報や新規の就労系障害福祉サービス提供事業所等の新設・空床情報について情報共有を図った。

② 今後の検討課題

アについて

具体的な協議は行わないが、共同受注窓口に関する情報共有は随時共有していく。

イについて

次年度も福祉・企業就労等に関する各種情報を共有していく。

(4) その他、部会で検討が必要と判断した事項

① 協議の成果

ア 秋田市人事課との連携

市人事課担当者から積極的に部会への参加があり、障がい者雇用や障がい特性等に関する情報交換等を行った。

イ 市障がい者雇用における職種の検討

当部会から市人事課担当者へ、事務作業以外の職種の就労事例等を提案した。また、新たな職種の検討のため大森山動物園の協力を得て、部会委員・協力員による見学を行った。

② 今後の検討課題

アについて

市の雇用率は達成したが、次年度も定着支援に関する助言や「障害者活躍推進事業」に関して人事課等の相談等に対応・連携していく。

イについて

アと同様、市の障がい者雇用の意向に対して、助言や相談等の連携を行っている。

6 今後の部会での協議等について

- (1) 就労系障害福祉サービス提供事業所の支援員を対象とした就労支援スキルアップに向けた研修の実施
- (2) 直B利用に係るアセスメント体制を調整
- (3) 当事者やその家族に向けた障害福祉サービス利用に関する説明会の開催
- (4) 就労系障害福祉サービス提供事業所一覧の更新
- (5) 障がい者雇用に関する情報発信と共有